

////////////////////////////////////NPO法人 高蔵寺ニュータウン再生市民会議発行 (☎080-4540-3553)

高森台県有地「花咲か作戦」始動 「どんぐりの森」が場所提供、市民参加で落ち葉の堆肥作り

長い間放置されていた「高森台県有地」も最近急激に変容しつつあります。「高森台県有地の活用を提案する市民の会」（略称市民の会）では設立来、市民が主体的に関われることはないか、種々の提案をしてきましたが、高齢者福祉施設「どんぐりの森」さんの協力を得て、いよいよ「花咲か作戦」が動き始めました。

2月20日、市民の会の運営委員である林明代さんによるこの計画についての報告説明会が開かれました。現地周辺はいまだ、荒地がむき出



しのままで、心和む環境ではありません。林さん達が考えたのが、この敷地の中で、皆が協働して、花が咲き乱れる「コミュニティガーデン」ができないか、というアイデアでした。このアイデアに多くの市民の方が「参加したい」という、昨年実施したアンケート結果も追い風になりました。幸い、「どんぐりの森」さんに場所を提供いただけることになり、昨年秋からまずは約100袋も集まった落ち葉の堆肥作りからスタートすることになりました。名付けて「花咲か作戦」。この活動は、単に花を育てるだけでなく、地域の人々が緩やかなつながりを持ちながら、循環型社会の実現を目指します。これからの新しい社会の姿を語る林さんの迫力ある話に、参加者の皆さんも深くうなずきながら温かい応援を送っていました。（寺島靖夫）

どんぐりsから

●高齢者の方々の多くは、このまま今の住まいに住み続けたいと願っています。しかし、一人暮らしになった時にどうするか、病気になった時にどうするか、その心配・不安に悩んでおられる方がほとんど、と云ってよいのではないのでしょうか？

●「どんぐりs」の「すまい困りごと相談事業」は、皆さんのそうしたお悩みに、少しでも応えたいと願い、また、皆が支え合う“まち”の実現をめざして始めました。どうぞ、お気軽にお電話（080-4540-3553）ください。

●一方、どんな状態になっても安心して暮らせるには、それを支えてくれる施設・サービスが整っていなければなりません。最近、「地域包括ケア」とか「地域医療」という言葉を耳にすることが多くなりました。それって何？ という疑問をお持ちの方も多いことと思います。3月の「どんぐりsカフェ」は、そのことについて皆で勉強したいと思い企画しました。どうぞ友人・知人お誘いの上、お気軽にご参加ください。お待ちしております。詳細は裏面のご案内をご覧ください。

（藤城 栄一）

投稿をお待ちしています

会員の皆様の投稿をお待ちしています。ニュータウン再生に関するご意見はじめ当会へのご注文などをハガキ（宛先・春日井市中央台6-10-19・藤城）かメール（e.fujiki@tk9.so-net.ne.jp）でお送りください。会報やHPに随時掲載します。

旧藤山台東小改修の基本設計まとまる 施設の魅力造りが課題

旧藤山台東小学校施設の改修設計に係るワークショップの報告会が2月28日、高蔵寺ふれあいセンターで開催された。3回にわたるワークショップで検討されてきたことが基本設計としてまとめられ、その概要説明がなされた。平面図を使って、駐車台数や身障者アプローチの経過説明があり、施設内部の使い勝手や変更部分なども説明された。図書室は、事例写真での説明で基本設計としての具体案は示されなかった。

その後質疑応答に入り、東側の賑わいゾーンから人を呼び込む方策強化についてや、運営の内容がまだ不明な段階で平面が決まってい

くには無理があり、今後運営側の意見を反映させていくことが望まれる。また基本設計というからには、魅力的な施設としての考えがもっと示されるべきで、具体的には外観や、外装、内装の仕様や、図書室に木材を使うなどもあるのではとか、また給食調理場跡地に予定される駐車場からの道路に歩道が出来るのかや、当施設へのアプローチ道路の整備の確認。また女子トイレの数が足りないのではという意見も出た。実施設計に取り掛かっていく際にその点も再度考慮し、必要に応じて検討改良していくということとなった。いずれにしても、市民の協力なしには施設は動いていけないので、多くの市民を含めた官民協働へ呼びかけがなされ報告会は終了した。今後の予定は、平成27~28年度は基本設計から実施設計、運営の検討。29年度は改修工事の実施、施設運営の準備。30年度以降に施設オープン、となっている。（長谷川光男）

私の朝・昼・晩

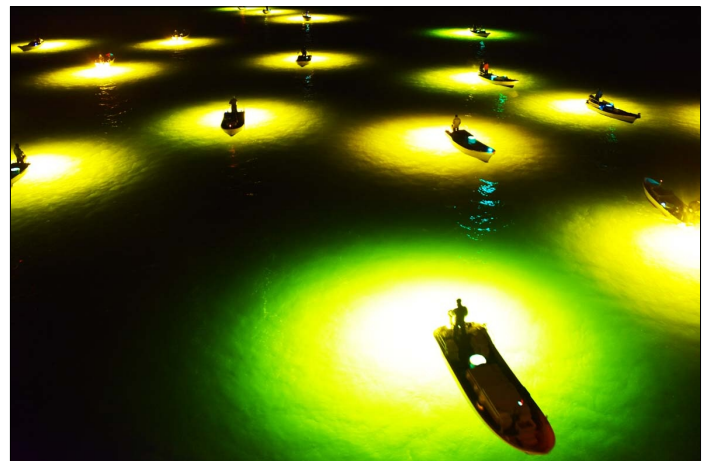
私のめざす爺さん像

「論語」を拾い読みしていると、時に思わず膝を打ちたくなるような文章に出会う。

孔子の愛弟子・子路が、楚の高官から「先生はどんな人物か」と尋ねられたが、答えられずに帰った。「汝、なんぞ言わざる」と孔子は語る。「その人と為りや、憤りを発して食を忘れ、楽しみて以って憂いを忘れ、老いのまさに至らんとするを知らざるのみと」

正統な解釈は「食事や憂いを忘れるほど好きな学問に夢中になって、老いて衰えつつあることも知らない」といったところだ。でも、私は勝手に字句通りに読んでいる。「米軍に随従して戦争するために、安保法制を強行可決するなどふざけるな！」と（食は忘れないが）憤りまくる。外国旅行やご近所同士でカラオケに通うなど楽しみを追い求め憂いを忘れ、認知症が進みボケつつあることも知らない。まさに、私の目指す爺さん像だ。

2500年も経てもなお読み継がれる孔子の思想。どんなに窮しても常に平然としていたという。孔子という人は、とてつもなくポジティブな人だったと思う。（明賀 雄二）



シラスウナギ漁（徳島市の吉野川） 森 健

3月の「どんぐりsカフェ」

テーマ：地域包括ケアと地域医療はどうなるの？
講師：杉村公也氏（東海記念病院地域医療担当医）

日時：3月19日（土）、13.30-16.00
会場：東部ほっとステーション（サンマルシェ南館、1階立体駐車場側入り口）

参加費：無料、当日受付

高齢者・すまい相談&困りごと生活相談

◎まずはお電話ください：

☎080-4540-3553（どんぐりs事務局）

相談会日時：3月13日（日）、13.30-16.00

3月19日（土）、10.30-12.00

会場：東部ほっとステーション